

(氏名は敬称略)

## 第12回明野晴明館少年柔道大会

6月10日 明野晴明館(武道館)

- 女子1・2年生の部
  - 優勝/石島奈菜子(誠練館)
  - 準優勝/岩田泉美(結城柔道スポ少)
- 女子3・4年生の部
  - 優勝/稲葉瑞希(結城少年柔道クラブ)
  - 準優勝/前添眸(明野晴明館)
- 女子5・6年生の部
  - 優勝/物井友香(明野晴明館)
  - 準優勝/古宇田美咲(明野晴明館)
- 幼年の部
  - 優勝/杉山満希(結城少年柔道クラブ)
  - 準優勝/針貝晃大(関城柔道会)
- 男子1年生の部
  - 優勝/酒井陸(下館武道館)
  - 準優勝/瀧原将(結城少年柔道クラブ)
- 男子2年生の部
  - 優勝/杉山海(下館武道館)
  - 準優勝/稲葉航希(結城少年柔道クラブ)
- 男子3年生の部
  - 優勝/石郷岡秀征(明野晴明館)
  - 準優勝/山田祐太(下妻柔道スポ少)
- 男子4年生の部
  - 優勝/生井海地(下館武道館)
  - 準優勝/吉原誠也(下館武道館)
- 男子5年生の部
  - 優勝/飯島俊佑(誠練館)
  - 準優勝/絵面佳彦(下妻柔道スポ少)
- 男子6年生の部
  - 優勝/永瀬むさ志(千代川道場)
  - 準優勝/奥村晃平(下妻柔道スポ少)



各部門で優勝した選手のみなさん



大会で大活躍の明野ちびバドのみなさん。  
(※順位は明野ちびバド所属の選手のみ掲載)

## 全国小学生バドミントンつくば県西地区予選会

7月1日 明野トレーニングセンター

- 6年男子複 準優勝/日向輝・坪松裕紀 ■ 6年男子単
- 優勝/稲光勇太 準優勝/山野井健二 第3位/松田孝介 ■
- 5年男子複 優勝/新井輝・松木幾日 準優勝/大関智樹・井桁駿 ■ 5年男子単 優勝/瀨尾直樹 ■ 4年男子単 第3位
- /新井大地 鶴見知紀 第5位
- /廣瀬陸 ■ 6年女子複 第3位/廣瀬彩香・大林美奈子
- 6年女子単 優勝/小澤芽生
- 5年女子複 第3位/真田麻衣・飯岡美咲 ■ 4年女子単
- 準優勝/飯岡優美

## 全日本学童野球県大会

6月23日、24日 水戸市民球場ほか

- 2回戦 新治野球スポーツ少年団
- 1回戦 関城ムテキンズ
- 1回戦 松原シルバーイーグルス

## 茨城新聞社県大会予選

6月3日、9日 下館市民球場ほか

- 出場チーム 新治野球スポーツ少年団
- 松原シルバーイーグルス
- 下館大田ホームーズ

## ママさんバレー市民体育大会

5月27日 市総合体育館

### Aブロック

- 優勝 下館MAX
- 準優勝 ファミリーズ
- 第3位 メモリーズ
- 第3位 エコー川島クラブ

### Bブロック

- 優勝 レ・コパンB
- 準優勝 中クラブ
- 第3位 フレンズ
- 第3位 五所クラブ

市内で開催されたスポーツ大会の結果を掲載しませんか。  
大会要項や写真などを広報広聴課までお持ちください。

## 今月のおすすめ本

### 中央図書館

◆夏の暑い日、冷蔵庫が壊れてしまった。困った家族が調べていると、いつの間にか冷蔵庫に目と鼻と口が……。そして「わたしも夏休みをもらって、プールに行ってみよう」と言ったのです。



**れいぞうこのなつやすみ**  
 さく=村上しいこ  
 え=長谷川義史  
 【PHP 研究社】

◆荒れ狂う海上に1艘の船。乗船者は15人の少年だけ。漂着したのは名も知れぬ無人島だった。持てる力のすべてを出し合い、様々な困難に立ち向かっていく、勇気と情熱に満ちた冒険小説。



**十五少年漂流記**  
 作=ジュール・ベルヌ  
 文=大久保昭男  
 【ポプラ社】

◆ウエズレー少年は夏休みの自由研究に、すごいことを思いついた。それは、「自分だけの文明」を創り出すということ。自分だけの作物を育て、自分だけの「文字」を発明して……



**ウエズレーの国**  
 作=ポール・フライシュマン  
 絵=ケビン・ホークス  
 訳=千葉茂樹  
 【あすなろ書房】

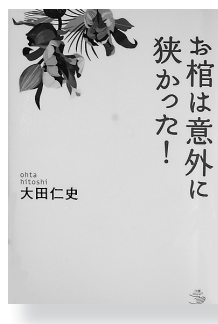
### 明野図書館

◆白イタチのノロイ一族に襲われた鳥ネズミを助けるため、町ネズミのガンバと船乗りネズミらの16匹が立ち上がります。敵は賢く美しく、どう猛。ガンバ達は知恵と力をふりしぼります。



**冒険者たち**  
 作=斎藤惇夫  
 画=数内正幸  
 【岩波書店】

◆著者は介護予防の第一人者で、茨城県立健康プラザの管理者。「ぼったり」倒れるのではなく「ぼっくり」往くためのコツや、若い、介護について、医者・家族の視点から体験談を交えて綴る。



**お棺は意外に狭かった!**  
 著=大田仁史  
 【講談社】

◆江戸有数の大店の若旦那・一太郎は、風が吹いても病気になるほど病弱。過保護な妖怪に守られながら、今日も元気に(?)寝込んでいたが、とうとう三途の川縁をさまよう羽目に……



**ちんぷんかんかん**  
 著=島中恵  
 【新潮社】  
 「しゃばけ」シリーズ第6弾

## イベント情報

### ★企画展「尊徳と筑西」

8月1日(水)～8月31日(金)

中央図書館・1階カウター前

●10月に行われるサミットを前に企画展を行います。尊徳関係の図書資料や、地元の方からいただいた貴重な資料を展示します。(貴重な郷土資料のため、館内閲覧のみ)

### ★おはなし会(明野図書館 児童室)

①8月4日(土) 午後2時

絵本「かわいそうなぞう」

「せかいいちうつくしいほくの村」

②8月5日(日) 午後2時

絵本「三びきのやぎのらがらどん」

「いそがしいっていわないで」

英語の絵本「FLOKIE BARBARA」

### ★映画会(明野図書館・視聴覚室)

おはなし会終了後

①8月4日(土) 「すいかのたね」

(わとうわき) ばばあちゃんビデオ) ほか

②8月5日(日) 「おぼけパーティー」

(ジャック・テュケフワのなかよしおぼけシリーズ、「アルムの山」(アルプスの少女ハイジ)

### ★赤ちゃん向け読み聞かせ

(中央図書館・お話しコーナー)

8月23日(木) 午後1時～3時



ブックスタート・スタンプが赤ちゃん向け読み聞かせをします。

### ★光る「泥だんご」をつくらうよ

▼日時①7月28日(土)

②8月19日(日) ▼時間

午前10時～午後3時頃

(雨天中止) ▼場所①明

野図書館 (実施場所は野外) ▼申

し込み②参加希望日を明野図書館へ

▼持参品①軍手、ストッキング(み

がくため)、ビニール袋(小)、お弁

当 ※帽子とタオルを用意し、汚れ

てもよい服装で来てください。



## 中央図書館 駐車場案内

図書館駐車場へ行くには、市役所前信号を南方向へ進んでください。駐車台数が少ないため、市役所駐車場もご利用ください。

いつも向上心を持っていたい。このレストランでお客様に最高の時間を過ごしてほしいから。



「The taste of Japan-ZEN Style」(第4回カリフォルニアスタイルSUSHIマスターコンテスト 優勝)



▲「仔羊の五香粉ロースト、なつめ風味の黒酢ソースを添えて・ムラサキイモのビューレ付き」(ヨーロッパのワインを楽しむ中国料理コンクール 優勝)

▲「ヌガーグラスセ トリュフ仕立て 燃えるチョコレートのドーム」(ぐらなびシェフBEST OF MENU 2007 優秀賞 (デザート部門第2位))

▲仲が良く、双子に間違われることもあるという2人。左が弟の林さん、右が兄の猪瀬さん。

全国レベルの大会で快挙  
 いのせ ふみとし  
**猪瀬 文俊** さん  
 はやし たけひと  
**林 武人** さん

「出品したのは、大切な日の食事が思い出に残るものになることを願って作った自慢のデザート。優勝できなくて残念でしたが、尊敬するパティシエにお誉めの言葉をいただき、励みになりました。腕試しのつもりで応募しましたが、いい経験になったと思います。自分もお店も常に成長していけるようこれからもいろんなことにチャレンジしていきたいですね」と語ってくれたのは、仏伊料理シェフの林武人さん(33歳)。6月に行われた「ぐらなびシェフBEST OF MENU 2007」決勝審査で、林さんのデザートは1120点の応募の中から見事、優秀賞に輝きました。林さんは現在、父・兄とともに、伊佐山にあるレストラン「ナチュラルセンスいのせ」を営んでいます。兄で中国料理シェフの猪瀬文俊さん(37歳)も昨年、「SUSHIマスターコンテスト」と「ヨーロッパのワインを楽しむ中国料理コンクール」でグラランプリに選ばれるという素晴らしい成

績を残しています。「そば職人の父を見てきたので、自然と料理の世界に興味を持ちました。父は、息子2人に違うジャンルの料理人になってほしいかったように、父の言う通りになりましたね(笑)。うちは和洋中、いろんな料理を楽しめるところがお客様にも好評なんです」と笑顔で語る猪瀬さん。猪瀬さんは台湾で、林さんはフランスで、それぞれ本場の技術を学んできており、腕には絶対の自信があります。「工場で大量生産されたものではなく、素材選びから仕込み、調理まで料理人がきちんと作ったものを食べてほしいですね。レストランは、おなががいっぱいになるだけではなく、そこで過ごす時間も大切。この店に来てよかったお客様に満足してもらいたい。そして、またあの店であの料理が食べたと思うてもらえたらうれしいですね」と2人そろって話してくれました。





## 村おこしで財政改革を進めた尊徳

下館藩の財政立て直しを頼まれた二宮尊徳は、租入を高めるためには領村の再興を進めなければならないと考え、まず灰塚村の開発に取り組みます。初めは思うように進まなかった仕法も、6年目によくやぐ成果が現れてきます。【文・上金蔵】



養蚕小学校の三宮金次郎像。市内では、9つの小中学校にこのような像が建てられています。

### 【財政改善のため村おこし】

藩の経費を節減しても、村々が荒れ、年貢を納めることができなければ、藩の財政は良くなりません。そこで、二宮尊徳は、藩内の全村と関係する村の開発を進め、人民の安寧と藩財政の改革に取り組みました。

尊徳は、「おおよそ国家の衰弱に至る原因は、財政の本源たる分度が明らかでないため支出に節度がなく、人民からの徴収も際限がなく、人民は困窮して租税は減少し、国費がいよいよ足りなくなり、君臣上下ともに困窮のどん底に陥ったのが下館の現状である。迅速に領村再興安撫の道を施すべき」と藩に諭しました。

### 【灰塚村の開発から】

嘉永5年2月に、尊徳は門人富田高慶を仕法指導者に任じ、積極的に村の立て直しに着手しました。領内から最初に選ばれたのが灰塚村でした。灰塚村は石高479石余、享保の頃の家数56軒が24軒に減り、5町4反余の手余田(荒地)ができるほど衰弱していました。村内には不和や紛争が絶えなかったといえます。

仕法にかかつてすぐに「大小貧富の差なく、御趣法米一俵、干鰯一俵、新鍬一枚、新鎌二枚ずつを与え」仕事に精を出すように働きかけました。全戸に日掛け縄ないをさせ、その代金を積み立て「報徳善種金」と

し、荒地起返、用悪水、道路普請、借財返済の資金とさせました。精励者を表彰し、無利息の報徳金を用意し、出精者を優先し、活用させたりしました。

仕法はなかなか進みませんでした。が、尊徳も検分を行い、村民を励まします。やがて徐々に良い方向に進み、新家作5軒、古屋建替2軒、せつちん(トイレ)9軒、屋根替4軒、家修復9軒など村が整備され、村の生産意欲が著しく向上しました。

### 【仕法が村々に広がる】

藩領内の仕法は、灰塚村の隣の谷中村へと進み、28村すべてで進められることになりました。互選投票で上位から順次行うという方式で下岡崎村・蕨村から着手され、翌年に蒔田村・大嶋村が、続いて和泉、中館、石塔村などへ仕法が進められ、村々が豊かになり、藩財政も安泰になっていきます。

仕法は幕府領の掉ヶ島村、花田村さらに旗本領の辻村、井上村、海老江村、坂井村、羽方村、吉田村、門井村、下高田村にも及びました。

### 二宮尊徳学習会のお知らせ

- ① 8月21日(火) 午後2時  
明野公民館 講師 桐原光明氏
- ② 8月24日(金) 午前10時30分  
中公民館 講師 鉄砲塚精四郎氏
- ▼テーマ Ⅱ 『筑西市における尊徳の仕法』
- ▼募集 Ⅱ 各100人程度
- ▼費用 Ⅱ 無料
- ▼申込 Ⅱ 不要
- 問い合わせ 教育委員会文化課  
TEL 2210183



▲6月20日、伊讚公民館で「尊徳学習会」を開催しました。講師の小石川功氏が、絵や地図を使いながら尊徳と筑西市の関わりについて講演。集まった大勢の市民は、感心した様子で耳を傾けていました。

▼7月5日、五所小学校で全校児童を対象に「尊徳学習会」を開催。講師の上金蔵氏、菊池織之助氏が五所地区にゆかりの深い尊徳について話す、子どもたちは興味津々の顔で聞き入り、講話が終わるとたくさん質問が飛び出しました。

